【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2003-8815(P2003-8815A)
【公開日】平成15年1月10日(2003.1.10)
【出願番号】特願2001-186352(P2001-186352)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　1/00
　Ｈ０４Ｍ　11/00
　Ｈ０４Ｎ　1/32
　Ｈ０４Ｎ　1/387
　Ｈ０４Ｎ　1/46
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　1/00　１０７Ｚ
　Ｈ０４Ｍ　11/00　３０２
　Ｈ０４Ｎ　1/32　Ｚ
　Ｈ０４Ｎ　1/387　１０１
　Ｈ０４Ｎ　1/46　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成17年3月14日(2005.3.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】画像通信装置及びその制御方法
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ネットワークを介し、電子メールを用いて画像通信を行うメール型ネットワーク画像通信機能を備えた画像通信装置において、
宛先種別としてネットワーク上の画像通信装置とデータ処理装置を指定可能な宛先種別設定手段を備え、画情報送信時、上記宛先種別設定手段により宛先種別として画像通信装置が指定された場合には、上記メール型ネットワーク画像通信機能に対応した用紙幅に送信画像の用紙幅を揃える一方、宛先種別としてデータ処理装置が指定された場合には、送信画像の用紙幅を規定せず、読取原稿の用紙幅を適用できるようにしたことを特徴とする画像通信装置。
【請求項２】
ネットワークを介し、電子メールを用いて画像通信を行うメール型ネットワーク画像通信機能を備えた画像通信装置において、
宛先種別としてネットワーク上の画像通信装置とデータ処理装置を指定可能な宛先種別設定手段を備え、画情報送信時、上記宛先種別設定手段により宛先種別として画像通信装置が指定された場合には、送信画像データの解像度を上記メール型ネットワーク画像通信機能に対応した読取解像度に変換し、その変換後の読取画像データを送信する一方、宛先

種別としてデータ処理装置が指定された場合には、読取送信画像データの読取解像度の変換を行わずに送信することを特徴とする画像通信装置。
【請求項３】
ネットワークを介し、電子メールを用いて画像通信を行うメール型ネットワーク画像通信機能を備えた画像通信装置において、
宛先種別としてネットワーク上の画像通信装置とデータ処理装置を指定可能な宛先種別設定手段を備え、画情報送信時、上記宛先種別設定手段により宛先種別として画像通信装置が指定された場合には、送信画像データの画像フォーマットを上記メール型ネットワーク画像通信機能に対応した画像フォーマットに変換し、その変換後の読取画像データを送信する一方、宛先種別としてデータ処理装置が指定された場合には、データ処理装置の指定時に対応して設定された画像フォーマットに、送信画像データの画像フォーマットに変換し、その変換後の読取画像データを送信することを特徴とする画像通信装置。
【請求項４】
ネットワークを介し、電子メールを用いて画像通信を行うメール型ネットワーク画像通信機能を備えた画像通信装置において、
宛先種別としてネットワーク上の画像通信装置とデータ処理装置を指定可能な宛先種別設定手段と、送信原稿を白黒読取およびカラー読取可能なカラー原稿読取手段を備え、画情報送信時、上記宛先種別設定手段により宛先種別として画像通信装置が指定された場合には、上記カラー原稿読取手段を白黒読取モードに設定して読取画像データを作成する一方、宛先種別としてデータ処理装置が指定された場合には、上記カラー原稿読取手段をカラー読取モードに設定して読取画像データを作成することを特徴とするネットワーク画像通信装置。
【請求項５】
画情報送信時、前記宛先種別設定手段により宛先種別として画像通信装置が指定された場合には、送信画像に送信端末識別情報を挿入する一方、宛先種別としてデータ処理装置が指定された場合には、送信画像に送信端末識別情報を挿入しないことを特徴とする請求項１または請求項２または請求項３または請求項４記載の画像通信装置。
【請求項６】
前記宛先種別設定手段により指定された宛先種別に内容を、通信履歴情報に含めて保存することを特徴とする請求項１または請求項２または請求項３または請求項４記載の画像通信装置。
【請求項７】
ネットワークを介し、電子メールを用いて画像通信を行うメール型ネットワーク画像通信機能を備えた画像通信装置の制御方法において、
宛先種別としてネットワーク上の画像通信装置とデータ処理装置を指定可能な宛先種別設定手段を備え、画情報送信時、上記宛先種別設定手段により宛先種別として画像通信装置が指定された場合には、上記メール型ネットワーク画像通信機能に対応した用紙幅に、送信画像の用紙幅を揃える一方、宛先種別としてデータ処理装置が指定された場合には、送信画像の用紙幅を規定せず、読取原稿の用紙幅を適用できるようにしたことを特徴とする画像通信装置の制御方法。
【請求項８】
ネットワークを介し、電子メールを用いて画像通信を行うメール型ネットワーク画像通信機能を備えた画像通信装置の制御方法において、
宛先種別としてネットワーク上の画像通信装置とデータ処理装置を指定可能な宛先種別設定手段を備え、画情報送信時、上記宛先種別設定手段により宛先種別として画像通信装置が指定された場合には、送信画像データの解像度を上記メール型ネットワーク画像通信機能に対応した読取解像度に変換し、その変換後の読取画像データを送信する一方、宛先種別としてデータ処理装置が指定された場合には、読取送信画像データの読取解像度の変換を行わずに送信することを特徴とする画像通信装置の制御方法。
【請求項９】

ネットワークを介し、電子メールを用いて画像通信を行うメール型ネットワーク画像通信機能を備えた画像通信装置の制御方法において、
宛先種別としてネットワーク上の画像通信装置とデータ処理装置を指定可能な宛先種別設定手段を備え、画情報送信時、上記宛先種別設定手段により宛先種別として画像通信装置が指定された場合には、送信画像データの画像フォーマットを上記メール型ネットワーク画像通信機能に対応した画像フォーマットに変換し、その変換後の読取画像データを送信する一方、宛先種別としてデータ処理装置が指定された場合には、データ処理装置の指定時に対応して設定された画像フォーマットに送信画像データの画像フォーマットに変換し、その変換後の読取画像データを送信することを特徴とする画像通信装置の制御方法。
【請求項１０】
ネットワークを介し、電子メールを用いて画像通信を行うメール型ネットワーク画像通信機能を備えた画像通信装置の制御方法において、
宛先種別としてネットワーク上の画像通信装置とデータ処理装置を指定可能な宛先種別設定手段と、送信原稿を白黒読取およびカラー読取可能なカラー原稿読取手段を備え、画情報送信時、上記宛先種別設定手段により宛先種別として画像通信装置が指定された場合には、上記カラー原稿読取手段を白黒読取モードに設定して読取画像データを作成する一方、宛先種別としてデータ処理装置が指定された場合には、上記カラー原稿読取手段をカラー読取モードに設定して読取画像データを作成することを特徴とする画像通信装置の制御方法。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
【課題を解決するための手段】
本発明は、ネットワークを介し、電子メールを用いて画像通信を行うメール型ネットワーク画像通信機能を備えた画像通信装置において、宛先種別としてネットワーク上の画像通信装置とデータ処理装置を指定可能な宛先種別設定手段を備え、画情報送信時、上記宛先種別設定手段により宛先種別として画像通信装置が指定された場合には、上記メール型ネットワーク画像通信機能に対応した用紙幅に、送信画像の用紙幅を揃える一方、宛先種別としてデータ処理装置が指定された場合には、送信画像の用紙幅を規定せず、読取原稿の用紙幅を適用できるようにしたものである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、ネットワークを介し、電子メールを用いて画像通信を行うメール型ネットワーク画像通信機能を備えた画像通信装置において、宛先種別としてネットワーク上の画像通信装置とデータ処理装置を指定可能な宛先種別設定手段を備え、画情報送信時、上記宛先種別設定手段により宛先種別として画像通信装置が指定された場合には、送信画像データの解像度を上記メール型ネットワーク画像通信機能に対応した読取解像度に変換し、その変換後の読取画像データを送信する一方、宛先種別としてデータ処理装置が指定された場合には、読取送信画像データの読取解像度の変換を行わずに送信するようにしたものである。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
また、ネットワークを介し、電子メールを用いて画像通信を行うメール型ネットワーク画像通信機能を備えた画像通信装置において、宛先種別としてネットワーク上の画像通信装置とデータ処理装置を指定可能な宛先種別設定手段を備え、画情報送信時、上記宛先種別設定手段により宛先種別として画像通信装置が指定された場合には、送信画像データの画像フォーマットを上記メール型ネットワーク画像通信機能に対応した画像フォーマットに変換し、その変換後の読取画像データを送信する一方、宛先種別としてデータ処理装置が指定された場合には、データ処理装置の指定時に対応して設定された画像フォーマットに、送信画像データの画像フォーマットに変換し、その変換後の読取画像データを送信するようにしたものである。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
また、ネットワークを介し、電子メールを用いて画像通信を行うメール型ネットワーク画像通信機能を備えた画像通信装置において、宛先種別としてネットワーク上の画像通信装置とデータ処理装置を指定可能な宛先種別設定手段と、送信原稿を白黒読取およびカラー読取可能なカラー原稿読取手段を備え、画情報送信時、上記宛先種別設定手段により宛先種別として画像通信装置が指定された場合には、上記カラー原稿読取手段を白黒読取モードに設定して読取画像データを作成する一方、宛先種別としてデータ処理装置が指定された場合には、上記カラー原稿読取手段をカラー読取モードに設定して読取画像データを作成するようにしたものである。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
また、画情報送信時、前記宛先種別設定手段により宛先種別として画像通信装置が指定された場合には、送信画像に送信端末識別情報を挿入する一方、宛先種別としてデータ処理装置が指定された場合には、送信画像に送信端末識別情報を挿入しないことようにしたものである。また、前記宛先種別設定手段により指定された宛先種別に内容を、通信履歴情報に含めて保存するようにしたものである。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
また、ネットワークを介し、電子メールを用いて画像通信を行うメール型ネットワーク画像通信機能を備えた画像通信装置の制御方法において、宛先種別としてネットワーク上の画像通信装置とデータ処理装置を指定可能な宛先種別設定手段を備え、画情報送信時、上記宛先種別設定手段により宛先種別として画像通信装置が指定された場合には、上記メール型ネットワーク画像通信機能に対応した用紙幅に、送信画像の用紙幅を揃える一方、宛先種別としてデータ処理装置が指定された場合には、送信画像の用紙幅を規定せず読取原稿の用紙幅を適用できるようにしたものである。

【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
また、ネットワークを介し、電子メールを用いて画像通信を行うメール型ネットワーク画像通信機能を備えた画像通信装置の制御方法において、宛先種別としてネットワーク上の画像通信装置とデータ処理装置を指定可能な宛先種別設定手段を備え、画情報送信時、上記宛先種別設定手段により宛先種別として画像通信装置が指定された場合には、送信画像データの解像度を上記メール型ネットワーク画像通信機能に対応した読取解像度に変換し、その変換後の読取画像データを送信する一方、宛先種別としてデータ処理装置が指定された場合には、読取送信画像データの読取解像度の変換を行わずに送信するようにしたものである。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
また、ネットワークを介し、電子メールを用いて画像通信を行うメール型ネットワーク画像通信機能を備えた画像通信装置の制御方法において、宛先種別としてネットワーク上の画像通信装置とデータ処理装置を指定可能な宛先種別設定手段を備え、画情報送信時、上記宛先種別設定手段により宛先種別として画像通信装置が指定された場合には、送信画像データの画像フォーマットを上記メール型ネットワーク画像通信機能に対応した画像フォーマットに変換し、その変換後の読取画像データを送信する一方、宛先種別としてデータ処理装置が指定された場合には、データ処理装置の指定時に対応して設定された画像フォーマットに送信画像データの画像フォーマットに変換しその変換後の読取画像データを送信するようにしたものである。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
また、ネットワークを介し、電子メールを用いて画像通信を行うメール型ネットワーク画像通信機能を備えた画像通信装置の制御方法において、宛先種別としてネットワーク上の画像通信装置とデータ処理装置を指定可能な宛先種別設定手段と、送信原稿を白黒読取およびカラー読取可能なカラー原稿読取手段を備え、画情報送信時、上記宛先種別設定手段により宛先種別として画像通信装置が指定された場合には、上記カラー原稿読取手段を白黒読取モードに設定して読取画像データを作成する一方、宛先種別としてデータ処理装置が指定された場合には、上記カラー原稿読取手段をカラー読取モードに設定して読取画像データを作成するようにしたものである。